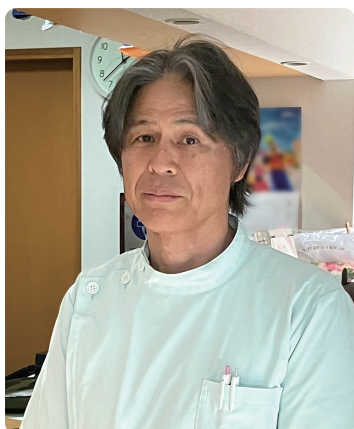


HEART CHECK 

ハートチェック[®] サービス

ハートチェックを健康検査のコースに組み入れて活用しています。

ハートチェックをどのように日常の診察にご活用いただいているのかについてインタビューを実施しました。導入のきっかけや診療への活用法など様々なお声をいただきましたので、ぜひ導入検討のご参考にご一読ください。



2023年3月から導入

アイン動物病院 南千里病院 様

〒565-0851 大阪府吹田市千里山西6丁目63-27-101

院長 美濃部 五三男先生

ご経歴

麻布大学獣医学部獣医学科 卒業
麻布大学付属家畜病院研修生
ダクタリ動物病院（久我山センター病院・大橋病院勤務）
ダクタリ動物病院堺病院（関西医療センター）勤務
1993年 アイン動物病院設立



Q1 ハートチェック導入のきっかけは？

立位で測定できることが一番大きかったです。当院は心電図をあまり活用してこなかったのですが、ハートチェックであれば簡単で安価にできるため導入を検討しました。

Q2 ハートチェックをどのように日常の診察に活用していますか？

健康検査に使用しています。当院では犬および猫が病院になれてくれるように、毎月の内外部寄生虫予防時に来院いただいております。その際、特に主訴や異常がなければ再診料はいただきません。ハートチェックは来院時のオプションとして有償で実施しています。できるだけ長く、毎回受けていただくために測定回数ごとの価格設定（長期間継続的に測定していただければ割引引くなど）を工夫しています。また、トリミングやホテル預かり時にもオプションとして活用しています。

Q3 ハートチェックを飼い主様にどのように勧めていますか？

導入前のデモ期間に無料測定を行い、来院時オプションとして飼い主様にアンケート調査を実施し、多くの飼い主様が承認して継続していただける価格を設定しました。その結果、日常的な検査として多くの飼い主様にご利用いただいています。無償測定も考えましたが、無償では検査結果の重みが薄くなるように思い、有償ではありますが安価に設定しています。

Q4 ハートチェック測定時に、特に気をつけていることはありますか？

犬によって落ち着く場所や方法が違うので、定期的に測定すればその子が落ち着く方法が分かるので、その方法で臨機応変に対応しています。例えば飼い主様が側にいれば落ち着く子には飼い主様に側にいていただくようにしていますし、床にいる方が落ち着く子には床で測定するなど工夫しています。横に寝かせてクリップを付けられて保定されている従来の心電測定と違い、犬にもストレスフリーで簡単に測定できるので測定中も飼い主様が安心される傾向にあります。

Q5 測定に関する院内オペレーションで工夫していることはありますか？

測定は獣医師指導のもとで愛玩動物看護師が行っています。誰が測定しても同じ結果が得られるのは安心ですね。

Q6 ハートチェックを受けられた飼い主様の反応はいかがですか？

レポートを印刷して飼い主様にお渡ししています。毎回お渡ししており、前回との比較ができるので好評ですし、飼い主様も前回の結果を覚えておられて今回の測定と比較されています。

Q7 ハートチェックのAI解析結果がもとで、心疾患の発見につながったなどの例はありますか？

いまのところはありません。

しかし、ハートチェックを行うことで飼い主様の心疾患に対する意識が変わって、気になることがあれば来院されるなど、早期発見につながっていると感じています。また、チワワやトイプードルは急に悪くなることがあるので、ハートチェックで2+以上が出た場合は、NT-proANPや超音波検査をお勧めしています。

Q8 ハートチェック最大の魅力は？

いままでの診療に付加価値が付けられますし、飼い主様の安心につながっているのが魅力です。

Q9 今後、ハートチェックに期待することはありますか？

カルテ番号などと紐づけし、前回との比較を表示できればありがたいです。また、オプションコメントはもう少し詳しく書いて欲しいです。

物産アニマルヘルス 開発担当者より

今後改良を検討してみます。

